

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 657 号	氏名	Vu Hai Ha
学位審査委員	主 査 森 田 公 一 副 査 皆 川 昇 副 査 山 城 哲		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究は熱帯地域で流行する蚊媒介性ウイルス感染症であるデング熱の発生率の消長と地域的な気候要因との相関を、ベトナム国という地形、気象変異に多彩な特徴を持つ地域を例にとりデング発生の気象要因を解析し、流行予測や予防対策に役立てようとするものであり、研究の動機や目的は妥当である。</p>			
<p>2. 研究方法の評価</p> <p>ベトナム国で信頼できるデングサーベイランスデータが取得可能な北部から南部を網羅する 9 つの地域から得られる、1999 年～2009 年までの月別データを基礎とし 1997 年の WHO 分類に基づくデング熱・デング出血熱症を解析対象とし、各種気象要因と一般線形モデルを構築し解析した手法は妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>上記手法による解析により、気象要因とデング熱発生には地域的な多様性が存在することが確認された。降雨量については 2 地域で顕著な正の相関、気温については 4 地域で顕著な正の相関、1 地域で負の相関がみられた。気温 1 度の上昇によりハノイ、ダナン、ラムドン、カマウでそれぞれ 135%、62%、82%、43%の罹患率増加でありホーチミンでは-28%であった。日照時間と罹患増加との相関についても地域格差が存在した。この結果から、気象要因をデング熱発生予測に用いるには、地域の地勢等の要因を考慮したローカルなレベルでの予測が必要であると結論づけた。</p> <p>本研究はアジアのデング熱対策に貢献するところ大であり、審査員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			